

課題名：医療におけるトランスサイエンス問題の政策史研究とアーカイブズ構築

代表者：後藤 基行（立命館大学 大学院先端総合学術研究科 講師）

参画機関：立命館大学, 広島大学, 九州大学, 東京大学, 尾道市立大学



課題概要

本研究企画は「医療におけるトランスサイエンス問題の政策史研究とアーカイブズ構築」として大きく3つの目的を持つ。

【政策史研究】 第一に、医療・ヘルスケア領域の政策史・制度史を人文社会科学研究のプロパー領域として発展させ、政策評価・立案に有用な歴史的なエビデンスを提供する知的インフラストラクチャーを構築することである。

【ウェブでのデータ提供】 第二に、医療・ヘルスケアに関わる歴史的統計や資料を収集・デジタル化し大規模にウェブ上に公開することで、歴史的な医療統計等へのアクセシブルな環境を整備することである。

【文書管理規定の策定】 第三に、診療録のような個人情報が多く含まれる医療機関作成資料の保存・利活用に関わる文書管理規定を策定し、医療アーカイブズの実際の運用に貢献することである。

ポイント

プロジェクトのポイントと目標は、一次資料のアーカイブ化（収集・保存・公開）とその活用を通じて、医療・ヘルスケア領域の政策史・制度史研究のプロパー化を進め、ELSIを織り込んだ過去の政策評価と未来の政策立案へ実践的な貢献をなすこと。

アカデミアがコモンズとして提供するアーカイブズにより、歴史と革新が有機的に連携できるというイメージ。

ただの資料保存ではなく、研究と教育機能が実装化された「破壊的イノベーション」型アーカイブズへの足掛かりに。

長期的な大目標は、大学組織の中に ①資料保存、②研究、③教育、④社会と地域の共有財産化、という4つの機能を備えた巨大なアーカイブズセンターを設立すること。